



基 幹 統 計

平成22年経済産業省企業活動基本調査

企 業 活 動 基 本 調 査 票 (案)

経済産業省企業活動基本統計

(平成22年3月31日現在)

資料1

この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査で、調査対象となった企業は報告の義務があります。

調査の期日は平成22年3月31日現在です。記入内容は平成21年度の決算期数値で記入してください。それが困難な場合は、最寄りの決算期の数値によって記入してください。

この調査票は、統計を作成するために使われるもので、報告者に利害関係を生じるような目的に使用されることはありません。ありのままの姿を記入してください。

調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入手引」に従って、黒または青のボールペンではっきりと記入してください。

なお、数値は、必ず調査票に定めた単位で記入してください。

調査票は、平成22年7月15日までに提出してください。

1 企業の概要

(1) 企 業 の 名 称	(フリガナ)				電話番号 (代表)					
(2) 本 社 又 は 本 店 の 所 在 地 「実際の本社機能を有する場所」	郵便番号 () 都道府県 市区郡 区町村 丁目 番 号 (ビル名)									
(3) 資 本 金 額 又 は 出 資 金 額 [調査期日時点]	0101	千 億	百 億	十 億	千 万 円	貴社の資本金に占める外国資本の比率を記入してください。			外資比率 (小数点第1位まで記入)	
						0102				%
(4) 企 業 の 設 立 形 態 及 び 設 立 時 期	0103	企業の設立年 西暦4桁 () 年				今回初めて調査票を提出される場合、設立の形態として該当する番号を選んで。を付けてください。 1.新規設立 2.新設合併 3.新設分割 4.その他				
(5) 平成21年4月以降の 組織再編行為の状況	0104	平成21年4月以降の組織再編行為について該当する番号を選んで。を付けてください。 1.あり を記入 2.なし (6)へ				平成21年4月以降組織再編行為があった場合、その内容として該当する番号をすべて選んで。を付けてください。 1.吸収合併 2.分社化 3.事業・資産の一部を他社に売却(事業譲渡) 4.他社の事業・資産の一部を購入(事業譲受) 5.その他				
(6) 企 業 の 決 算 月	0105	年1回				月	年2回		月、 月	
(7) 消 費 税 の 取 扱 い (□内にレを記入)	0106	税抜き ☐				消費税の取扱いについては、原則、税込みで記入してください。 ただし、会計処理上税込みで記入することが困難な場合は税抜きで記入し、□内にレを記入してください。				

調査票報告者(企業の代表者)の氏名				
記 入 者 の 氏 名	(フリガナ)			
本票の記入内容の照会 に回答される人(記入者) の所属部署及び所在地	所属部署			
	電話() 局 番 (内線) 番 連絡先所在地(本社・本店の所在地と異なる場合のみ記入してください。)			
備考欄(記入内容について、特記すべき事項があれば記入してください。)				

経済産業省

経済産業省経済産業政策局調査統計部企業統計室

(この欄は、経済産業省が使用します。)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業組織及び従業者数

平成22年調査

(1) 事業組織別事業所数及び常時従業者数

(年度末現在)

区 分			事業所数	常時従業者数(人)
本 社 ・ 本 店	本社機能部門	調査・企画部門	0201	
		情報処理部門	0202	
		研究開発部門	0203	
		国際事業部門	0204	
		その他の部門(総務、経理、人事等)	0205	
		本社機能部門計 ①	0206	
	現業部門	製造・鉱山、電気・ガス事業部門	0207	
		商業事業部門	0208	
		飲食店部門	0209	
		情報サービス事業部門	0210	
		サービス事業部門	0211	
		その他の部門(上記以外の部門)	0212	
	現業部門計 ②	0213		
計 (① + ②)		0214		

(注) 「常時従業者数」には、有給役員、常用雇
用者(正社員、正職員、
パート、アルバイト、
嘱託、契約社員等の呼
称にかかわらず1か月
を超える雇用契約者及
び当該年度末の前2か
月においてそれぞれ18
日以上雇用した者)の
数を記入してください。

(注) 「情報サービス事業
部門(0210)、情報サ
ービス事業所(0218)」
は、ソフトウェア業、
情報処理・提供サービ
ス業、インターネット
附随サービス業、映画・
ビデオ制作業、テレビ
番組制作業、新聞業、
出版業の業務を行っ
ている部門・事業所です。

(注) 「本社・本店」の事
業所数については、本
社・本店の数を「計
(0214)」のみ記入し
てください。
「常時従業者数」に
ついては、各部門ごと
に記入してください。

区 分			事業所数	常時従業者数(人)
本 社 ・ 本 店 以 外	国内(本社・本店併設のものを除く)	製造・鉱業、電気・ガス事業所	0215	
		商業事業所(商業店舗、鉱業・製造業の支社、 支店、営業所等)	0216	
		飲食店	0217	
		情報サービス事業所	0218	
		サービス事業所	0219	
		研究所	0220	
		倉庫・輸送・配送等事業所	0221	
		その他(上記以外の事業所)	0222	
	海外	海外支社、支店、駐在所等	0223	
	計		0224	
他企業等への出向者		0225		
合 計 + +		0226		
うち、正社員・正職員		0227		
うち、パートタイム従業者		0228		
パートタイム従業者(就業時間換算)		0229		

(注) 事業所数は、「本社・
本店の計(0214)」、「
本社・本店以外(0215～
0224、0226)」に記入し
てください。

(注) 「本社・本店以外」
については、各事業所
(海外を含む)ごとに
「事業所数」、「常時
従業者数」とも記入し
てください。

(注) 「他企業等への出向
者(0225)」には、主と
して貴社で給与を支払
っている子会社、関連会
社などへの出向者の数
を記入してください。

(注) 正社員・正職員には、
常時従業者のうち、一
般に正社員・正職員な
どと呼ばれている人の
数を記入してください。

(注1) パートタイム従
業
者
に
は、
常
時
従
業
者
の
う
ち、
正
社
員
・
正
職
員
よ
り
1
日
の
所
定
労
働
時
間
ま
た
は
1
週
間
の
労
働
日
数
が
短
い
人
の
数
を
記
入
し
て
く
だ
さ
い。
(注2) 「パートタイム従
業
者
(就
業
時
間
換
算)
(0229)」には、貴社の
正社員・正職員の就業
時間
で
換
算
し、
四
捨
五
入
の
上
整
数
で
記
入
し
て
く
だ
さ
い。

(2) その他の従業者数

(年度末現在)

区 分	従業者数(人)
臨時・日雇雇用者	0230
(受入れ)派遣従業者	0231

- (注1) 「臨時・日雇雇用者(0230)」とは、1か月以内の期間を定めて雇用している者及び日々雇入れている者をいいます。
- (注2) 「(受入れ)派遣従業者(0231)」とは、労働者派遣事業を営む事業主が雇用する従業者であって、当該雇用関係のまま貴社と当該労働者派遣事業主との契約の下に、貴社の指揮命令を受けて、貴社の業務に従事させている従業者をいいます。

3 親会社、子会社・関連会社の状況

平成22年調査

(1) 親会社の名称、所在地、業種、議決権所有割合

親会社とは、貴社の議決権の50%を超えて所有している会社をいいます。
ただし50%以下であっても、貴社の経営を実質的に支配している場合も含みます。(年度末現在)

親会社の有無	0300	親会社の有無について、該当する番号を選んで。を付けてください。 1. 親会社がある 2. 親会社はない (2) 子会社・関連会社の所有状況へ)									
親会社の名称											
親会社の証券コード	0301					親会社为上場会社の場合は親会社の証券コードを記入してください。					
親会社の所在地	0302	都道府県番号				国分類番号				国名	
親会社の経営形態及び業種名	親会社の経営形態について、該当する番号に。を付け、業種名、業種分類番号を記入してください。										
	0303	1. 親会社は純粋持株会社である → 業種分類番号は990を記入してください。 2. 親会社は事業持株会社である その場合業種名は不要です。 3. その他									
	0304	業種名					業種分類番号				
親会社の議決権所有割合	0305					%	貴社に対する親会社の議決権所有割合を小数点第1位まで記入してください。				
親会社との連結関係	貴社と親会社の連結関係について、該当する番号に。を付けてください。										
	0306	1. 連結子会社 (親会社が連結決算をしている) 2. 非連結子会社 (親会社が連結決算をしている) 3. 親会社が連結決算をしていない									

(注1) 親会社が国内にある場合は、親会社の所在地の都道府県番号、海外にある場合は、国分類番号、国名を記入してください。
(注2) 都道府県番号、国分類番号及び業種分類番号は「企業活動基本調査用分類表」を参照してください。

(注1) 純粋持株会社とは、事業活動を営むことを目的とするのではなく、他の複数の会社の株式を所有することによって、それらを支配することを主たる目的とし、グループ全体の経営計画立案などに携わる会社をいいます。
(注2) 事業持株会社とは、事業活動を営み、かつ複数の会社の株式を所有することによって、それらを支配することを目的とした会社をいいます。
その際、単なる親子関係は該当しません。

(2) 子会社・関連会社の所有状況

子会社・関連会社の有無

子会社・関連会社の有無について、該当する番号を選んで。を付けてください。

0310 1. 子会社・関連会社がある 2. 子会社・関連会社はない (3) 子会社・関連会社の増加、減少へ)
子会社・関連会社の所有状況 (年度末現在)

議決権所有割合			業種分類番号	子会社・関連会社の数						
				国内	海外	アジア	うち、中国(含、香港)	ヨーロッパ	北米	その他の地域
子会社	100%	0311								
	100%未満 ～50%超 (注2)	0312								
関連会社	50%以下 ～20%以上 (注3)	0313								

(注1) 議決権は、議決権の付与が一部であるものを含みます。
(注2) 子会社とは、貴社が50%超の議決権を所有する会社をいいます。また、その子会社あるいは貴社とその子会社合計で50%超の議決権を所有している会社も含みます。
50%以下であっても貴社が実質的に支配している会社も含みます。
(注3) 関連会社とは、貴社が20%以上～50%以下の議決権を所有している会社をいいます。
また、15%以上20%未満であっても、重要な影響を与えることができる会社を含みます。
(注4) 業種分類番号は、「企業活動基本調査用分類表」の区分に従って分類番号を記入してください。
(注5) 子会社・関連会社を所有する場合、4ページの「4(2)関係会社への投資額等」にも記入してください。
(注6) 休眠中の会社は含めないでください。
(注7) 記入欄が足りない場合は、「調査票の記入手引」の「補助用紙」に記入し、左端に貼付してください。

(3) 子会社・関連会社の増加、減少

当該年度に増加、減少した子会社及び関連会社数を記入してください。

(年度)

(年度)

区 分		増加社数			
		国 内		海 外	
		子会社	関連会社	子会社	関連会社
年 度 内 計	0321				
新規設立	0322				
分社化	0323				
買収	0324				
その他(上記以外)	0325				

区 分		減少社数			
		国 内		海 外	
		子会社	関連会社	子会社	関連会社
年 度 内 計	0326				
閉鎖・廃業	0327				
統合	0328				
売却	0329				
その他(上記以外)	0330				

(注1) 子会社、関連会社の記入には、(2)(注2)及び(注3)を参照してください。
(注2) 「分社化(0323)」とは、企業が事業又は組織の一部を分離し、別会社(子会社・関連会社)を設立した場合をいいます。
(注3) 「買収(0324)」とは、議決権を所有した場合をいいます。
(注4) 「閉鎖・廃業(0327)」とは、事業活動を停止し、継続しない場合をいいます。
(注5) 「統合(0328)」とは、子会社・関連会社間の合併等の場合をいいます。
(注6) 「売却(0329)」とは、議決権を他社に譲渡した場合をいいます。

4 資産・負債及び純資産並びに投資

平成22年調査

(1) 資産・負債及び純資産

(年度末現在)

科 目		十	兆	千	億	十	億	千	万	百	万	円	科 目		十	兆	千	億	十	億	千	万	百	万	円
資 産	流 動 資 産	0401											負債	流 動 負 債	0411										
	うち、棚卸資産	0402												うち、支払手形・買掛金	0412										
	固 定 資 産	0403												うち、長期借入金(金融機関)	0413										
	有形固定資産	0404												うち、長期借入金(金融機関以外)	0414										
	うち、土地以外	0405												固 定 負 債	0415										
	無形固定資産	0406												うち、社債(転換社債を含む)	0416										
	うち、ソフトウェア	0407												うち、長期借入金(金融機関)	0417										
	投資その他の資産	0408												うち、長期借入金(金融機関以外)	0418										
	繰 延 資 産	0409																							
資 産 合 計	0410											純資産	資 本 金	0419											
													資 本 剰 余 金	0420											
													利 益 剰 余 金	0421											
													自 己 株 式	0422											
													その他	0423											
												負債及び純資産合計	0424												

(注) 「その他(0423)」には、土地の再評価差額金、金融商品に係る時価評価差額金等が該当します。

(2) 関係会社への投資額等

(年度末現在)

区 分		国 内							海 外						
		十	兆	千	百	十	億	千	百	十	億	千	百	十	億
関係会社への投融資残高		0431													
うち、株式及び出資金残高	0432														
うち、長期貸付金	0433														

(注1) 3ページの「3 親会社、子会社・関連会社の状況」に記入された場合、「関係会社への投融資残高(0431～0433)」に記入してください。

(注2) 関係会社とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

(3) 固定資産の増減

(年度)

区 分		十	兆	千	百	十	億	千	百	万	円	区 分		十	兆	千	百	十	億	千	百	万	円
有形固定資産の当期取得額		0441										有形固定資産の当期除却額		0444									
うち、情報化投資	0442											無形固定資産の当期減少額		0445									
無形固定資産の当期取得額	0443																						

(4) 剰余金の配当状況

(年度)

区 分		千	百	十	億	千	万	円
配当金(中間配当額を含む)		0451						

5 事業内容

(1) 売上高及び費用等

(年度)

科 目		十	兆	千	百	十	億	千	百	万	円
売 上 高		0501									
営業費用	0502										
販売費及び一般管理費	0503										
営業外収益	0504										
営業外費用	0505										
うち、支払利息等	0506										
経常利益(損失)	0507										
当期純利益(損失)	0508										

「売上高(0501)」の内訳を記入してください。
「売上高(0501)」は、
自社製品・製造品、電気・ガス・熱供給・水道売上高
加工賃収入額
卸売・小売、宿泊、飲食サービス売上高
サービス事業収入額
その他の事業収入額
の数値の計と一致します。

(2) 費用の内訳(特掲)

(年度)

科 目		十	兆	千	百	十	億	千	百	万	円
広 告 宣 伝 費		0511									
荷 造 運 搬 費		0512									
減価償却費		0513									
給与総額(賞与を含む)		0514									
福利厚生費(退職金を含む)		0515									
不動産・不動産賃借料		0516									
租 税 公 課		0517									

(注) 各費用科目には「販売費及び一般管理費(0503)」に属する経費と、「売上原価(0502)」に属する経費の合計額を記入してください。

(3) 情報処理・通信費

(年度)

科 目		十	兆	千	百	十	億	千	百	万	円
情報処理・通信費		0520									

(注) 情報処理・通信費 = 「情報処理経費」 + 「通信費」
・コンピュータによる情報処理やデータ通信等の専門部署における情報処理費用と電話、郵便等の通信費の合計金額
・コンピュータによる情報通信費には、導入諸掛り、リース・レンタル料、保守料、回線使用料、ソフトウェア委託料及び購買費、パンチ委託料、計算委託料(マシンタイム借料を含む)、オンラインサービス料等を含みます。

(4) リース契約により使用している設備に係る支払いリース料

(年度)

科 目		十	兆	千	百	十	億	千	百	万	円
支 払 リ ー ス 料		0530									

(注) 当該年度にリース契約に基づいて支払った金額を記入してください。
リース契約とは、長期間にわたり特定の資産を占有して使用する賃貸借契約をいい、土地・建物の賃借、短期間のレンタル、チャーター等は含まれません。

資本金5億円以上の企業で財務省の「法人企業統計年次別調査票」を提出される企業については、色分けした調査事項(0401～0517)について記入の必要はありません。

(5) 売上高の内訳

平成22年調査

「売上高(0501)」について、その内訳を次の ～ に「企業活動基本調査用分類表」の品目分類または事業分類の区分に従って、売上高または収入額の多い順番に、**分類番号毎にまとめて**、主要な取扱品名または事業の具体的な名称及び金額を記入してください。

～ のそれぞれの売上高又は収入額の計と内訳は一致します。また、～ の売上高又は収入額の合計は、「売上高(0501)」と一致します。

自社鉱産品・製造品、電気・ガス・熱供給・水道売上高

(年度)

0531 売上高 上位より	分類番号			主 要 品 名		十 兆	兆	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円
	9	9	1	そ の 他									
				計									

(注) 分類番号は、

「鉱業」…………… 051
「製造業」……………091～320
「電気・ガス・熱供給・水道業」
……………331～360

が該当します。

自社製造品であっても、消費者(産業用使用者を除く)に直接販売をする場合は、「製造小売」として、「卸売・小売、宿泊・飲食サービス事業売上高」に記入してください。

加工賃収入額

(年度)

0532 収入額 上位より	分類番号			主 要 品 名		十 兆	兆	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円
	9	9	2	そ の 他									
				計									

(注) 分類番号は、

「製造業」……………091～320

が該当します。

「加工賃収入額」には、他企業から支給された原材料、半製品、部分品を加工した収入額を記入してください。

卸売・小売、宿泊、飲食サービス売上高

(年度)

0533 売上高 上位より	分類番号			主 要 品 名		十 兆	兆	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円
					(卸売・小売・宿泊・飲食サービス)								
					(卸売・小売・宿泊・飲食サービス)								
					(卸売・小売・宿泊・飲食サービス)								
					(卸売・小売・宿泊・飲食サービス)								
	9	9	3	そ の 他									
					(卸売・小売・宿泊・飲食サービス)								
				計									

(注) 分類番号は、

「卸売業」……………511～559
「小売業」……………570～610
「宿泊業」……………750
「飲食サービス業」……………760、766、770

が該当します。

同一商品であっても「卸売」、「小売」では分類番号が異なりますので、分けて記入してください。
カッコ内の「卸売」、「小売」、「宿泊」、「飲食サービス」の区分に。を付けてください。

サービス事業収入額

(年度)

0534 収入額 上位より	分類番号			主 要 事 業 名		十 兆	兆	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円
	9	9	4	そ の 他									
				計									

(注) 分類番号は、

「サービス業」……………702～710
……………726～746
……………781～809
……………880～929

が該当します。

サービス業においては、営業収入等の内訳を記入してください。

その他の事業収入額

(年度)

0535 収入額 上位より	分類番号			主 要 事 業 名		十 兆	兆	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円
	9	9	5	そ の 他									
				計									

(注) 分類番号は、

「情報通信業」……………370～419
「金融・保険業」……………621、643
「医療・福祉業」……………830
「教育・学習支援業」……………811、824
「農林水産業」……………010～030
「建設業」……………060
「運輸業」……………440～480
「不動産業」……………680～693
「複合サービス事業」……………860、870

が該当します。

(注1) 品目又は事業の内訳金額は、それぞれの売上高または収入額全体に占める割合が**95%の金額を超えるまで**必ず分類区分してください。

(注2) 残りの金額については、その内訳が多分野にわたる場合は、分類区分を省略して「991その他」～「995その他」に一括計上しても差し支えありません。

(注3) 記入欄が足りない場合は、「調査票の記入手引」の「補助用紙」に記入し、左端に貼付してください。

6 取引状況

平成22年調査

(1) 売上高の取引状況

(年度)

区 分		取引額							うち、関係会社								
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
売 上 高	0601																
うち、モノの輸出額	0602																
アジア	0603																
うち、中国 （含、香港）	0604																
中東	0605																
ヨーロッパ	0606																
北米	0607																
その他の地域	0608																

(注1) 関係会社とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

(注2) 「売上高(0601)」の取引額は、4 ページ 5 (1)中の「売上高(0501)」の数値と一致します。

(注3) 「うち、モノの輸出額(0602)」は、**自社名義**で通関手続きを行った輸出額を記入してください。

(注) 地域区分については、「**企業活動基本調査用分類表**」の「**国分類表**(地域を含む)」に従って記入してください。

(2) 仕入高(モノ)の取引状況

(年度)

区 分		取引額							うち、関係会社								
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
仕 入 高（モノ）	0609																
うち、モノの輸入額	0610																
アジ ア	0611																
うち、中国 （含、香港）	0612																
中 東	0613																
ヨ ー ロ ッ パ	0614																
北 米	0615																
その他の地域	0616																

(注1) 関係会社の記入には、(1)(注1)を参照してください。

(注2) 「仕入高(モノ)(0609)」の取引額は、4 ページ 5 (1)中の売上原価(0502)のうちの商品仕入高、原材料仕入高等の国内及び海外仕入高の合計を記入してください。
サービス取引(運輸、通信、建設、保険、金融、情報、ソフト、文化、興行等の各種サービス、特許権等使用料等)については含めないでください。

(注3) 「うち、モノの輸入額(0610)」は、**自社名義**で通関手続きを行った輸入額を記入してください。

(3) モノ以外のサービスに関する国際取引

(年度)

区 分		取引額							うち、関係会社								
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
海外からの受取金額	0617																
海外への支払金額	0618																

(注1) 関係会社の記入には、(1)(注1)を参照してください。

(注2) モノ以外のサービスとは、運輸、通信、建設、保険、金融、情報、ソフト、文化、興行等の各種サービス、特許権等使用料等をいいます。

(注3) 損益計算書に計上した国際取引に限って記入してください。

7 事業の外部委託の状況

(1) 貴社における外部委託の実施状況について、該当する番号すべてに○を付けてください。

1 . 製造委託を行った (1 . 国内 2 . 海外)

(2)を記入

0701

2 . 製造委託以外の外部委託を行った

(3)及び(4)を記入

3 . 外部委託は行っていない

8へ

(2) 貴社における製造委託の委託金額

(年度)

区 分		取引額							うち、関係会社								
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
製造委託の金額	0702																
うち、海外	0703																

(注1) 関係会社の記入には、6(1)(注1)を参照してください。

(注2) 「製造委託の金額(0702)」には**営業費用**(「売上原価(0502)」を含む)に計上した**外注費、業務委託費等(類似のものを含む)**のうち、製造委託の総額を記入してください。

(3) 製造委託以外の業務の外部委託（アウトソーシング）の状況について、1～12の中で該当する番号に○を付け、委託先の国内、海外別について、該当する番号すべてに○を付けてください（建設工事の委託は除く）。

1. 情報処理関連	(1. 国内	2. 海外)
2. 調査・マーケティング	(1. 国内	2. 海外)
3. デザイン・商品企画	(1. 国内	2. 海外)
4. 一般事務処理	(1. 国内	2. 海外)
5. 福利厚生などの従業員福祉関連	(1. 国内	2. 海外)
0704 6. 税務・会計など特殊分野	(1. 国内	2. 海外)
7. 社内研修など従業員教育	(1. 国内	2. 海外)
8. 受付・案内・秘書などの渉外業務	(1. 国内	2. 海外)
9. 運送・配送・保管など物流関連	(1. 国内	2. 海外)
10. 清掃・保安・保守などの環境及び防犯関連	(1. 国内	2. 海外)
11. 研究開発関連分野	(1. 国内	2. 海外)
12. その他	(1. 国内	2. 海外)

このうち、外注費、業務委託費等として
経理処理したものについて、(4)に記入

(4) 貴社における製造委託以外の外注費、業務委託費等の金額

(年度)

科 目		取引額								うち、関係会社							
		十兆				千億				十億				億			
		兆	兆	兆	兆	億	億	億	億	千	千	千	千	万	万	万	万
製造委託以外の外注費、業務委託費等の金額	0705																
うち、海外	0706																

(注1) 関係会社とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

(注2) 製造委託以外の外注費、業務委託費等の金額には、営業費用（「売上原価（0502）」を含む）に計上した外注費、業務委託費等（類似のものを含む）のうち、製造委託を除いたものを記入してください。

8 研究開発、能力開発

(1) 貴社の研究開発（受委託を含む）への取組みについて、該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 研究開発（受委託を含む）を、国内で行っている | (2)、(3) を記入 |
| 0801 2. 研究開発（受委託を含む）を、海外で行っている | (2)、(3) を記入 |
| 3. 研究開発（受委託を含む）を行っていない | (3) へ |

(2) 研究開発費及び研究開発投資

(年度)

区 分		研究開発費及び研究開発投資															
		うち、関係会社との受委託															
		国内				海外											
		千億				億				千億				億			
		億	億	億	億	千	千	千	千	万	万	万	万	千	千	千	千
自社研究開発費	0802																
委託研究開発費	0803																
受託研究費	0804																
研究開発関連有形固定資産当期取得額	0805																

(注1) 関係会社の記入には、7(4) (注1)を参照してください。

(注2) 「委託研究開発費（0803）、受託研究費（0804）」には、大学や他の企業との共同研究に伴う研究開発費も含めてください。

(注) 資本金10億円以上の企業で、総務省の「科学技術研究調査票」を提出される企業については、色分けした調査事項（0802～0805）について記入の必要はありません。

(注) 「研究開発関連有形固定資産当期取得額(0805)」については、4ページ4(3)中の「有形固定資産の当期取得額(0441)」のうち、研究開発に係る金額を記入してください。

(3) 能力開発費

(年度)

区 分		千億	百億	十億	億	千	万	万
能力開発費	0806							

(注) 「能力開発費（0806）」には、講師・指導員経費、教材費、外部施設使用料、研修参加費及び研修委託費、大学への派遣・留学関連費用、大学・大学院等への自費留学にあたっての授業料の助成等を含めてください。

9 技術の所有及び取引状況

(1) 特許権等の所有、使用状況

(年度末現在)

内 容		所有しているもの(件)		うち、使用しているもの(件)	
				うち、自社開発のもの(件)	
特 許 権	0901				
実 用 新 案 権	0902				
意 匠 権	0903				

(注) 「うち、使用しているもの」には、他社に供与しているものも含めてください。

(2) 技術取引
受取金額

(年度)

内 容			受取金額						うち、関係会社					
			千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円
特許権	国内	0911												
	海外	0912												
実用新案権	国内	0913												
	海外	0914												
意匠権	国内	0915												
	海外	0916												
著作権	国内	0917												
	海外	0918												
うち、ソフトウェア	国内	0919												
	海外	0920												
その他	国内	0921												
	海外	0922												

(注1) 関係会社とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

(注2) 「受取金額」、「支払金額」には、新規・継続を問わず平成21年度1年間に、国内又は海外の企業との間に技術の受入れ・提供を行った場合に記入してください。

なお、貴社としての「受取金額」、「支払金額」に加え、内数としての関係会社との「受取金額」、「支払金額」について記入してください。

(注3) 「うち、ソフトウェア」とは、コンピュータ・ソフトウェアをいいます。

支払金額

(年度)

内 容			支払金額						うち、関係会社					
			千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万 円
特許権	国内	0923												
	海外	0924												
実用新案権	国内	0925												
	海外	0926												
意匠権	国内	0927												
	海外	0928												
著作権	国内	0929												
	海外	0930												
うち、ソフトウェア	国内	0931												
	海外	0932												
その他	国内	0933												
	海外	0934												

1 0 企業経営の方向（年度末現在）

取締役の人数 1001

貴社の取締役の人数を記入してください。

社内取締役（人）	社外取締役（人）	うち、関係会社（人）

(注1) 関係会社の記入には、9(2)(注1)を参照してください。

(注2) ストックオプションの実施については、取締役等または従業員のいずれかに実施している場合は、1に○を付けてください。

委員会設置会社ですか。該当する番号に○を付けてください。

1002 1. はい 2. いいえ

ストックオプション制度について、設問の該当する番号に○を付けてください。

1003 ストックオプションの実施状況 1. 実施している 2. 実施していない

1 1 バイオテクノロジーの利用状況

貴社におけるバイオテクノロジーの利用状況について、該当する番号に○を付けてください。

< 周期調査 >

1101 1. バイオテクノロジーを利用している
2. バイオテクノロジーを利用していない

バイオテクノロジーとは、生体が有する物質変換・情報利用・処理・伝達・エネルギー変換などの機能を利用・模倣する技術をいいます。従来型の発酵・醸造・培養、変異処理なども含みます。

バイオテクノロジーの利用形態
○バイオテクノロジーを利用して自社製品の生産をしている。/
○バイオテクノロジーを利用して生産された他社製品を原材料として使用し、自社製品を生産している。
/
○バイオテクノロジーを利用して生産された製品を購入し、販売のみを行っている。/
○バイオテクノロジーを利用した分析、検査、ソフト提供等のサービスを行っている。/
○バイオテクノロジーを利用して自社製品の研究開発を行っている。

バイオテクノロジーの利用例
○生物化学的プロセス（有用物質の生産、エネルギーの発生、環境浄化等）/
○優れた新性能を持つ物質、物体、酵素、微生物、動植物の創出/
○高度の生命現象の利用（遺伝子治療、診断技術、人工臓器等）/
○生体機能を利用または模倣した鋭敏かつ特異性の高い検知、測定、情報伝達技術（バイオセンサー、バイオコンピュータ等）/
○有用物質の評価、解析技術：医薬品など生理活性物質の評価/
○生命現象の解明の研究